

平成 26 年度 調査研究委員校

## 【六郷中学校】

《本校の OJT キーワード》

研究チーム OJT ミニ講習会 OJT

いつでも気軽に OJT (IKO)

学び合いカード OJT 教育活動振り返りシート



研究チーム OJT 授業検討会で話し合う教職員

1 本校の OJT

2 OJT 実践

3 OJT 実践の振り返り

4 OJT に取り組んで

# 1 本校のOJT

- **教育目標の具現化**を図るため、専門職としての自覚と見識を深め、豊かな人間性と指導力を身に付けることを目指してOJTを進める。
- **研究チームOJT**を中心に、校内研究・研修を実践し、学び合いの意識を高める。
- 校内のニーズを共有した研修内容を設定し、意欲の向上を図る。



研究チームOJTの検討会

## ファシリテーターの働きかけ

- 全体のファシリテーターは**研究主任**。教育目標の具現化や校内研究テーマを意識し、年間計画作成やチーム編成、情報提供や声掛けを行う。
- 領域で**ファシリテーター**を分担し、協力してOJTを実施する。
  - ① 研究チームOJT…3名のミドルリーダーを中心に3チーム編成
  - ② ミニ講習会…教頭、校務分掌主任
  - ③ 学年会…学年主任
  - ④ 教科部会…教科主任
- 教職員が希望する研修内容を**アンケート**で調査し、計画作成に生かす。
- 風通しの良い、**学び合う人間関係づくり**を目指す。

## 学び合いの意識化

- **年間計画一覧表**を作成し、年度初めに提示する。
- 教職員一人一人が、いずれかのOJTの場で、授業者や講師、司会等の役割を経験するように計画し、**互いの持ち味を生かした学び合い**を進める。
- OJT実施後は、学びを各自の日常実践に生かすために、**学び合いカード**を記入する。
- **OJT教育活動振り返りシート**を活用して、自身の教育活動を**可視化**し、目標と評価の一体化を意識する。

OJT年間計画

	研究チームOJT	学年会・教科部会・ミニOJT等
4月	月上旬 チーム分け(自己紹介・チーム名決定) アンケート	2日 教科部会OJT(研究テーマ) 2日 学年会OJT(学級経営) 7日 エピベン研修 18日・職員会議ミニOJT「板書」 ・ミニ講習会「学級力」( )
5月	19日 希望テーマによるOJT/指導案検討 [R]「復興に向けて～六郷3年のあゆみ」( ) [K]「行事(合唱祭)における心の育成」( ) [G]「学校現場におけるPC等の活用方法」( )	19日 職員会議ミニOJT「言語活動サポートブック紹介」 下旬 教科部会OJT (年間計画・評価法)
6月	24日 授業研究会 (ベテラン・ミドルによる) [R] 1年道徳「私もいじめた一人なのに」( ) [K] 3年特活「「進路を考える」」( ) [G] 3年国語「推敲して、文章を磨こう」( )	20日 OJ研修 26日 職員会議ミニOJT「灯し続ける言葉(大村はま)」

## 2 OJT 実践

### OJT キーワード

#### 研究チーム OJT

- 年度当初に、全教科に共通する生徒の学習態度を研究の出発点にし、担当教科の枠を超えて意見を出し合えるようにするため、**経験年数**、**教科**、**学年が混在した形での3チームを編成**する。

チーム名	R	K	G
ファシリテーター	T <sub>1</sub> ：経験年数20年 (技)	T <sub>1</sub> ：17年 (1英)	T <sub>1</sub> ：6年 (3国)
ベテラン	校長 (数) T <sub>2</sub> (2音) T <sub>3</sub> (2数)	教務主任 (1国) T <sub>2</sub> (特保)	教頭 (家) T <sub>2</sub> (3保) T <sub>3</sub> (特社)
ミドル	T <sub>4</sub> (1保) T <sub>5</sub> (2国) T <sub>6</sub> (1理)	T <sub>3</sub> (養) T <sub>4</sub> (1美) T <sub>5</sub> (3数) T <sub>6</sub> (2理)	T <sub>4</sub> (1社) T <sub>5</sub> (3理) T <sub>6</sub> (栄)
フレッシュ	T <sub>7</sub> (特美) T <sub>8</sub> (3英) T <sub>9</sub> (3数)	T <sub>7</sub> (3社) T <sub>8</sub> (2保) T <sub>9</sub> (1数)	T <sub>7</sub> (2英) T <sub>8</sub> (1家) T <sub>9</sub> (1数) A L T (英)

- 年2回、**授業研究会**を行う。
- ・ 授業については、**1回目はベテラン・ミドル**、**2回目はフレッシュが担当**する
  - ・ 授業者は、チームで話し合っ**て決める**。
  - ・ 授業検討会はワークショップ形式で行い、生徒の実態を基にした学び合いを進める。

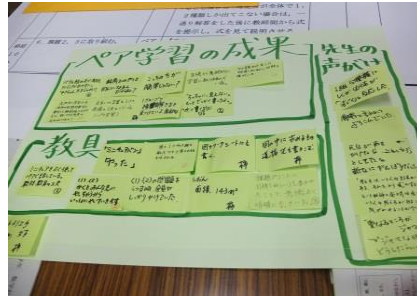


数学の研究授業の様子

チーム名	R	K	G
1回目6月 授業内容 (授業者)	1年道徳「私もいじめた一人なのに」 (ミドルT)	3年特活「進路を考える」(ミドルT)	3年国語「推敲して、文章を磨こう」 (ミドルT)
2回目9月 授業内容 (授業者)	3年数学「二次方程式」 (フレッシュT)	3年社会「日本の平和主義」 (フレッシュT)	1年数学「文字と式」(フレッシュT)



研究チームで授業検討会



ワークショップ形式で話し合い



チームごとに成果を発表


- **希望テーマ**（教職員全体で共有できる，困っている，知りたい内容）のアンケートを取り，ファシリテーターが内容，講師を決定する。職員会議後に行う。



震災時の六郷中の記録を視聴

チーム名	R	K	G
希望テーマ (講師役)	「復興に向けて～六郷3年のあゆみ～」 (ミドルT)	「行事(合唱祭)における心の育成」 (ベテランT)	「学校現場におけるPC等の活用方法」 (ミドルT)

- **OFF JT (校外研修)** を夏期休業中に行う。校外に出て研修を行うことで学び合い，同僚性を育む機会とする。

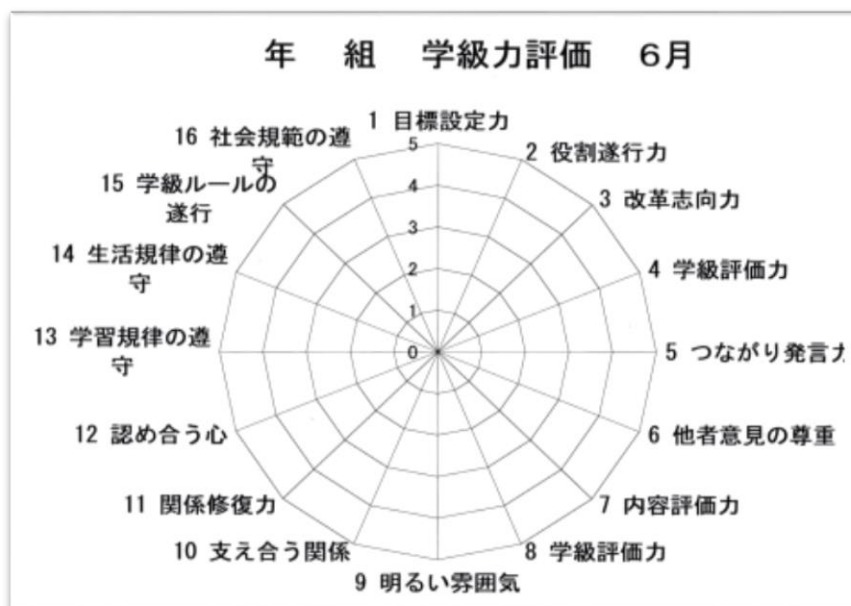
チーム名	R	K	G
OFF JT	宮城県美術館	麒麟ビール仙台工場	藤田喬平ガラス美術館
体験内容	ギャラリートーク 「ひまわり」鑑賞	工場見学 エコツアー参加	芸術鑑賞 松島の歴史学習
			

## 0JT キーワード

### ミニ講習会 0JT

- 職員会議内に設定し、0JTの時間（10分程度）を確保する。
- 主に、校外における研修の伝講を行う。

月	内容（講師）
4月	学級力（特活主任）
9月	ファイナンスパーク① 小中連携（教頭）
10月	いじめ不登校対策（生徒指導主事）
11月	防災教育（防災主任）
12月	ファイナンスパーク②（特活主任）



ミニ講習会「学級力」資料

### 学年会 0JT

- 月に1回、放課後に実施し、情報の共有や話し合いを行う。

< 学年会 0JT 例 >

- ・ 学級目標
- ・ 係決め
- ・ 学級の約束事
- ・ 席替え
- ・ 生徒指導問題行動
- ・ 教育相談
- ・ 家庭学習 など

## 教科部会 OJT

- 1, 2ヶ月間隔で, 放課後や空き時間に, 教科, 領域ごとで実施する。

<教科部会 OJT 例>

- ・授業づくり
- ・年間指導計画作成について
- ・考査問題作成
- ・評価
- ・指導案検討
- ・「自分の考えを目的や場面に応じて適切に表現する力を高める」指導法の工夫例紹介

## ≡ OJT

- 職員会議で, 研究部より, 課題として伝えたいこと, 豆知識, お知らせなどを取り上げて行う。

月	内 容
4月	「板書」について～子どもたちの望む板書
5月	「言語活動の充実」～提案者・司会・参加者のポイントについて～
6月	「子どもの見取り」について『灯し続けることば』大村はま著より
8月	「思考・判断・表現」を意識した支援のポイント
9月	学ぶことの意味～福沢諭吉の言葉から
10月	学ぶことの意味～福沢諭吉の言葉から
11月	『先生大好き 学校大好き』近野兼史氏（図書寄贈者）紹介
12月	「グループ活動」について～いろいろなグループで活動させる～

## OJT キーワード

### いつでも気軽に OJT <IKO>

- 予告なしで学級の見学に行ってもよいことにする。
- 授業, 朝の会, 帰りの会, 給食, 清掃などを見学し合い, 教室経営, 生徒指導等の学び合いを行う。



給食の様子

# 3 OJT 実践の振り返り

## OJT 実践内容

「研究チーム OJT 授業研究会」 (H26.6月実施)

## 振り返り方法と留意点

## 学び合いカード

- ・ 学びを **各自の日常実践に生かす**ために、**カード**に記入する。
- ・ 主に、研究チーム OJT の実施後に配布する。
- ・ 次月の **職員会議**で紹介する。

## OJT 資料等



授業研究の様子

〈カード記入のお願い〉  
校内研究授業での学びを各自の日常実践に生かすために、カード記入をお願いします。  
カードをビツと引っぱって外し、土生まで提出お願いします。

<b>「校内研究授業」学び合いカード</b> 今後、自己の日常実践に生かしたいことを記入してください。 <small>※スキャナで読み取りますので、濃くはつきりとお書きください。</small>	記入者名
話し合いを深めるためには、まず人間関係づくり(生徒と生徒、教師と生徒)が大切であることを改めて感じました。 学習規律の徹底もがんばりたいです。	
OJTについて 御要望・御意見などありましたらお書きください。 無理のない範囲でというのも大切だと思います。	

「第2回OJT」学び合いカードより RUI<sup>2</sup> 6/25

震災当初に感じたことを忘れずに、生徒に向き合わなければと思いました。

震災のビデオを久しぶりに見て、自分自身があの時の感覚を忘れてしまっていることに少しショックを受けた。忘れてはいけいといと強く感じた。

**GAMBAインザキ**

- ・ one noteは朝の打ち合わせで活用したい(全体で情報を共有したい)
- ・ 学習は積極的に活用したい。使ったお礼もあわせて報告も学んでいきたい。
- ・ ONE noteの活用方法を調べたので、今後、積極的に活用していきたい。

**ONE NOTEを、若い先生との情報共有で活用したい。**

- ・ 教職員の表現する力も高めるために、手書きの状態でもとめ、職員会議で紹介する。
- ・ OJT の振り返りや力量向上の意識化、ニーズ把握に有効である。
- ・ 授業者や講師役には、OJT 実施後の反応が分かり、励みにもなっている。



OJT の振り返りを行う様子

## OJT 実践内容

「OJT の振り返り」 (H26.6月,1月実施)

## 振り返り方法と留意点



道徳の研究授業の様子

## OJT 教育活動振り返りシート

- ・教育センター「目指す教員の姿」を基に、経験年数（育成期，向上期，充実・発展期）によるシートを作成。
- ・自己評価欄を2回（6月と1月）に記入し、目標と評価の一体化を意識する。

## OJT 資料等

- ・自身の経験年数に応じた目指す教員の姿に対する自己評価を行うには有効である。
- ・シートを基に、OJTを実施していく際、OJTメンバーが何を課題として挙げているのかを踏まえ、チームごとの研修内容を考える手立てにもなる。

OJT関連		教育活動振り返りシート		
			氏名	
仙台版・いきいき教員づくり ～求められる教員の姿～ 【育成期 教員経験初任～5年】				
教員としての基盤	教育公務員としての自覚と教職への誇りを持ち、謙虚な姿勢でその専門性の向上に努め、社会人としての教養を身に付けようとする先生			
実践的指導力	授業に関する基礎・基本を習得し、熱く児童生徒と活動する先生			
学校運営力	指導・助言を受けながら、組織の一員として誠実に業務に取り組む先生			
評価基準 A 積極的に行っている, B たまに行っている, C あまり行っていない, D 行っていない,				
力量	要素	目指す教員の姿(29項目)	自己評価	自己評価
教員としての基盤	1 使命感・情熱	常に児童生徒のために、教職への誇りと高潔な教育理念を持って教育活動に当たっている。		
	2 高い倫理観	教育公務員としての自覚を持ち、法令等を遵守し誠実かつ公正に職務を遂行している。		
	3 人間的魅力	広い教養を備え、児童・生徒や保護者、他の職員から好かれる人間的魅力を持つようとしている。		
	4 社会性・謙見	他の教職員や保護者、地域の方々と適切な人間関係を築き、組織の一員として協働的に関わっている。		
	5 継続的な向上心	広く研修に努め、他人の意見を謙虚に受け止めて学び続ける。		
授業	6 授業構想	①学習指導要領解説の内容を理解し、小・中の学びの系統を踏まえている。 ②目標や付けたい力に照らして児童生徒の実態を把握している。 ③教材研究の大切さを理解し、積極的に取り組もうとしている。		
	7 授業実践	①教材研究により児童生徒の興味・関心や学習意欲を引き出す指導を行っている。 ②しっかり考えを聞き合う学習習慣を確立し、本時の目標に迫る授業を行っている。 ③基本的な指導技術や場に適した指導形態等を理解し、指導内容が身に付くようにしている。		
	8 授業評価・改善	①指導と評価の一体化について理解し、評価基準を設定・計画する。 ②計画に従って児童・生徒の学習状況を把握し、本時の指導に生かす。 ③信頼性のある評価を目指し、		

教育センター「教育活動振り返りシート」を基に学校にて作成



仙台版・いきいき教員づくり ～求められる教員の姿～ 【育成期 教員経験初任～5年】

教員としての基盤	教育公務員としての自覚と教職への誇りを持ち、謙虚な姿勢でその専門性の向上に努め、社会人としての教養を身に付けようとする先生
実践的指導力	授業に関する基礎・基本を習得し、熱く児童生徒と活動する先生
学校運営力	指導・助言を受けながら、組織の一員として誠実に業務に取り組む先生

評価基準 A 積極的に行っている, B たまに行っている, C あまり行っていない, D 行っていない,

力量	要素	目指す教員の姿(29項目)	自己評価	自己評価
教員としての基盤	1 使命感・情熱	常に児童生徒のために、教職への誇りと高潔な教育理念を持って教育活動に当たっている。		
	2 高い倫理観	教育公務員としての自覚を持ち、法令等を遵守し誠実かつ公正に職務を遂行している。		
	3 人間的魅力	広い教養を備え、児童・生徒や保護者、他の職員から好かれる人間的魅力を持とうとしている。		
	4 社会性・識見	他の教職員や保護者、地域の方々と適切な人間関係を築き、組織の一員として協働的に関わっている。		
	5 継続的な向上心	広く研修に努め、他人の意見を謙虚に受け止めて学び続ける。		
実践的指導力	6 授業構想	①学習指導要領解説の内容を理解し、小・中の学びの系統を踏まえている。 ②目標や付けたい力に照らして児童生徒の実態を把握している。 ③教材研究の大切さを理解し、積極的に取り組もうとしている。		
	7 授業実践	①教材研究により児童生徒の興味・関心や学習意欲を引き出す指導を行っている。 ②しっかり考えを聞き合う学習習慣を確立し、本時の目標に迫る授業を行っている。 ③基本的な指導技術や場に適した指導形態等を理解し、指導内容が身に付くようにしている。		
	8 授業評価・改善	①指導と評価の一体化について理解し、評価規準を設定・計画する。 ②計画に従って児童・生徒の学習状況を把握し、次時の指導に生かす。 ③信頼性のある評価を目指し、児童生徒の意欲を喚起するよう指導を改善する。併せて保護者への説明を適切に行う。		
	9 授業研究	校内で進んで研究授業を行い、他の教職員の指導助言を受け、授業を改善しようとしている。		
	10 学力向上プランの作成実践	児童生徒の実態を把握し、個々に見合う学力向上プランを計画・実施している。		
	11 情報活用・発信 (ICT活用)	ICT活用について基礎的な知識・技能を身に付け、効果的に授業や業務に生かそうとしている。		
	12 自分づくり教育推進	自分づくり教育の趣旨を理解し、児童生徒に適切な指導を行っている。		
学級づくり	13 学級経営	児童生徒理解に基づく学級経営を行い、よりよい学びの環境をつくっている。		
	14 生徒指導	直面する問題や課題に気づき、先輩教員等に相談しながら課題を解決しようとしている。		
	15 児童生徒理解	自分の受け持つ児童・生徒の実態を把握し、伸ばすべき個性と能力を見つけている。		
学校運営力	16 コミュニケーション	対人関係をより円滑にできるコミュニケーション能力の基礎を身に付け、分かりやすく納得を得られるような説明を行ったり、相手の考えを聞き取り自分の考えをきちんと伝えたりしようとしている。		
	17 柔軟な対応	相手の話を傾聴し、誠実に接している。		
	18 人間関係性構築	児童生徒・保護者・地域との信頼関係を築くために、積極的に活動している。		
	19 職員間の円滑交流・意思疎通	「報告・連絡・相談」の機能とその方法について理解し、問題解決に向け積極的に職員間交流を行っている。(一人で抱え込まずに相談する姿勢を持つ。)		
	20 校務の遂行・組織業務への参画	校務分掌の業務内容を理解し、組織の一員として職務遂行に努めている。		
	21 連携・折衝・調整	指導・助言を受けながら、職務に誠実に努めている。		
	22 自己研鑽 (マネジメントサイクルPDSIを生かした)	教員評価の流れや留意点を理解し、主体的に参加している。		
	23 セルフマネジメント	教育公務員としての自覚及び一教員としての自覚を常に持ち、自己確認を行いながら行動している。		
	24 リスクマネジメント・クライシスマネジメント	校内における事故防止と安全対策をよく理解するとともに、自身の役割を理解しすぐに対応できるように備えている。		
	25 ヘルスマネジメント	心身の状態把握について理解し、生活リズムの安定と健康保持に努めている。		
	26 カリキュラムマネジメント	教育目標達成や目指す児童生徒像の具現化のため指導計画を立案し、授業・単元・カリキュラム等のPDSIを意識して取り組んでいる。		
	27 組織マネジメント	教育公務員として、また、学校組織の一員として、自覚を持って協働していくことの意味を理解するとともに、自己の役割を認識し、積極的に職務に取り組んでいる。		
28 ネットワーク・地域	校務分掌に関わる情報収集と校内でのネットワークづくりに努めている。			
29 人材育成 (人づくり)	初任層同士で教育活動や指導力向上に向けた情報交換を積極的に行い、初任層同士で切磋琢磨できるネットワークをつくる。5年目には初任のよきモデルとして後進の育成に関わろうとしている。			

仙台版・いきいき教員づくり ～求められる教員の姿～ 【向上期 教員経験6～15年】

教員としての基盤	教育公務員としての自覚と教職への誇りを持ち、謙虚な姿勢でその専門性の向上に努め、社会人としての教養を身に付けようとする先生
実践的指導力	授業に関する専門性を向上させ、はつらつと児童生徒との活動に取り組む先生
学校運営力	PDSIサイクルを活用し、自己の組織貢献力の向上に努めつつ、校内の先生方と連携しながら着実に業務を遂行する先生

評価基準 A 積極的に行っている, B たまに行っている, C あまり行っていない, D 行っていない,

力量	要素	目指す教員の姿(29項目)	自己評価	自己評価
教員としての基盤	1 使命感・情熱	常に児童生徒のために、教職への誇りと高潔な教育理念を持って教育活動に当たっている。		
	2 高い倫理観	教育公務員としての自覚を持ち、法令等を遵守し誠実かつ公正に職務を遂行している。		
	3 人間的魅力	広い教養を備え、児童・生徒や保護者、他の職員から好かれる人間的魅力を持とうと考えている。		
	4 社会性・識見	他の教職員や保護者、地域の方々とは適切な人間関係を築き、組織の一員として協動的に関わり合っている。		
	5 継続的な向上心	広く研修に努め、他人の意見を謙虚に受け止めて学び続けている。		
実践的指導力	6 授業構想	①小・中9年間の学びの系統を踏まえて単元を構想している。②目標や付けたい力に照らして児童生徒の実態を的確に把握している。③児童・生徒の実態や地域の特色を生かした教材開発に取り組もうとしている。		
	7 授業実践	①児童生徒の興味・関心や意欲を高める指導を行っている。②しっかり考え聞き合う学習を確立させ、本時(単元)の目標に迫る授業を行っている。③指導技術や指導形態等を工夫し、適切に指導している。		
	8 授業評価・改善	①児童生徒の姿を具体的に想定して評価規準を設定・計画している。②計画に従って児童生徒の学習状況を把握し、指導に生かそうとしている。③信頼性のある評価を目指し、児童生徒の意欲を喚起するよう指導を改善している。併せて、保護者に適切に説明する。		
	9 授業研究	校内、市教研などの研究授業を積極的に行い、授業力を向上させようとしている。		
	10 学力向上プランの作成実践	児童生徒の実態を把握し、個々に見合う学力向上プランを計画・実施している。		
	11 情報活用・発信(ICT活用)	保護者、地域、関係機関との連絡・調整を適切に行い、必要な情報を提供している。		
	12 自分づくり教育推進	自校の実態に応じた自分づくり教育(進路指導含む)の全体計画を作成・活用し、個性や能力を伸ばす指導を行おうとしている。		
学級づくり	13 学級経営	児童生徒理解に基づく学級経営を推進し、児童生徒同士のコミュニケーションを促進し望ましい集団をつくらうとしている。		
	14 生徒指導	直面する生徒指導上の課題や問題について、校内の教員と報告・連絡・相談を行いながら自分で解決しようとする。		
	15 児童生徒理解	自校の児童・生徒の実態を把握し、個性や能力を伸ばす指導を行っている。		
協同・参画	16 コミュニケーション	相手の考えや意見、立場を尊重して受容するとともに、自分の立場(学年や校務分掌等)や組織を意識した建設的な考えや意見を持ち、論理的コミュニケーションを図ろうとしている。		
	17 柔軟な対応	相手の話を傾聴し、相手の立場や心情の理解に努めている。		
	18 人間関係性構築	児童生徒・保護者・地域の人々との信頼関係を構築するために、それぞれの思いを受け止めるとともに、情報提供や自身の考えを示し誠意を持って活動している。		
	19 職員間の円滑交流・意思疎通	職員間の情報共有の場の設定を積極的に行い、後進のよき相談相手として活発な職員交流を行う。(教員同士が相談しやすい雰囲気づくりに努めている。)		
	20 校務の遂行・組織業務への参画	PDSIサイクルを活用して校務分掌の遂行に努めるとともに、より効率的な職務遂行の手だての工夫改善を図っている。		
	21 連携・折衝・調整	学年及び校内の上司と連携しながら、計画的かつ的確に連絡や折衝等に努める。また、事務処理を適切かつ迅速に行っている。		
学校運営力	22 自己研鑽(マネジメントサイクルPDSIを生かした)	目標設定や評価結果のフィードバック等に留意し、PDSIサイクルによる資質能力の向上に生かしている。		
	23 セルフマネジメント	キャリアステージから見て必要な自己研鑽を積み、教育公務員として果たすべき役割についての認識を持って行動している。		
	24 リスクマネジメント・クライシスマネジメント	校内における事故防止と安全対策をよく理解した上で、場面や状況に応じた対応について、学年等でシミュレーションを行うなど対応に備えている。		
	25 ヘルスマネジメント	心身の変調や体調管理についての理解と、心身の健康保持のための方法等について深めるとともに、後進の相談役となり助言を行っている。		
	26 カリキュラムマネジメント	教育目標達成のための全体指導計画に基づいて、単元構成や単位時間の指導計画と評価計画を立案して実践する。また、PDSIサイクルを活用し分析から改善の視点を明確に持ち、年間指導計画の見直しや改善に積極的に関わっている。		
	27 組織マネジメント	自校の課題解決及びよりよい教育活動を展開する方策について、学年及び校務分掌組織から見つめ直し、具体的な改善策等を講じるとともに教職員と協働して推進を図っている。		
	28 ネットワーク・地域	校区及び地域内の人や施設等の情報を的確に把握し、その活用に向けて積極的に計画を立てて実践している。		
	29 人材育成(人づくり)	得意分野において研究や授業を公開する。情報交換の場を設け、切磋琢磨できる雰囲気づくりに努め、後進の育成に関わっている。		

氏名

仙台版・いきいき教員づくり ～目指す教員の姿～ 【充実・発展期 教員経験16年以上】

教員としての基盤	豊かな経験に裏打ちされた高い識見と熱い情熱を持ち、教育者としての専門性や人間性を磨く先生
実践的指導力	授業に関する専門性を一層向上させ、模範的授業を自ら実践したり、校内の先生方の指導助言をしたりしながら、しっかりと児童生徒に寄り添う先生
学校運営力	校内の先生方の気持ちや立場を理解し、組織全体について幅広く見渡す心と知見を持って業務を遂行し、後進の育成に当たる先生

評価基準 A 積極的に行っている, B たまに行っている, C あまり行っていない, D 行っていない,

力量	要素	目指す教員の姿(29項目)	自己評価	自己評価	
教員としての基盤	1 使命感・情熱	常に児童生徒のために、教職への誇りと教育理念を持って教育活動に当たっている。			
	2 高い倫理観	教育公務員として教育に関する法令を理解・遵守し、誠実かつ公正に職務を遂行する環境を作っている。			
	3 人間的魅力	豊かな経験に裏打ちされた高い識見を持ち、教育者としての専門性・人間性を磨き、人間的魅力を持っている。			
	4 社会性・識見	学校に対する社会からの要請を自覚し、高い識見を持って教育活動に当たっている。			
	5 継続的な向上心	学校運営組織をリードし、常に自己研鑽に努めて教職員の範となろうと考えている。			
実践的指導力	6 授業構想	①学習指導要領の趣旨を生かした教育課程づくりを推進している。②児童生徒の実態を的確に把握し、個を生かした授業を構想している。③単元開発を行い、授業づくりに関する専門性を高ようとしている。			
	7 授業実践	①児童生徒が主体的に学び合う集団づくりを行っている。②児童生徒自身が目標を意識し、互いの考えを学び合う学習を行っている。③目的や内容に応じて指導技術や指導形態を使い分け、効果的な指導を行っている。			
	8 授業評価・改善	①指導と評価について全体計画をたて、計画に従って実践している。②指導と評価の一体化について適切に指導している。③信頼性のある評価を目指している。			
	9 授業研究	専門性を生かして校内授業研究会での指導・助言を進んで行っている。			
	10 学力向上プランの作成実践	経年変化や全国・市全体の傾向を視野に入れ、自校の学力向上プランを組織的に展開しようとする。			
	11 情報活用・発信（ICT活用）	保護者、地域、関係機関等、様々な立場の人と協働し、広く情報収集をしたり適切に情報発信をしたりする。			
	12 自分づくり教育推進	自校の実態に応じた自分づくり教育（進路指導含む）の全体計画を作成・活用し、個性や能力を伸ばす指導を行っている。			
学級づくり	13 学級経営	共感や相互受容を大切にしながら学級経営を充実させ、より望ましい集団をつくろうとしている。			
	14 生徒指導	全体計画を作成したり、自校の生徒指導上の課題解決に向け、具体的方策を提案したりする。			
	15 児童生徒理解	自校の児童生徒を深く理解し、愛情をもって接することができる。			
協働・参画	16 コミュニケーション	相手の立場を理解し共感的・受容的態度で考えや意見を傾聴する。組織の一員としての役割を考えた上で、自分の意見を伝え、他の教員とコミュニケーションを図ろうとしている。			
	17 柔軟な対応	経験を活かしたり、課題解決に必要な情報や技術を自ら求めたりすることで、物事に柔軟に対応できるようにする。			
	18 人間関係性構築	児童生徒・保護者・地域の人々の思いを学校の諸活動に反映させていくための施策や方法の工夫改善を図りながら、誠意を持って職務を遂行している。			
	19 職員間の円滑交流・意思疎通	他の教員の立場を理解し、経験等を活かした指導・助言を積極的に行っている。また、管理職や他学年・他教科及び職種異なる職員とのパイプ役としてつながりを密にした誠実な職員間交流を行う。			
	20 校務の遂行・組織業務への参画	積極的に職務の効率化を図り、組織全体を見据えた具体的な策を打ち出し、校務改善を推進する。			
	21 連携・折衝・調整	上司への報告・連絡を適切に行いながら、それらに係る事務処理を工夫改善し迅速に行っている。			
	22 自己研鑽（マネジメントサイクルPDSIを生かした）	目標設定や評価結果のフィードバック等に留意し、PDSIサイクルによる資質能力の向上に生かそうとしている。			
	学校運営力	23 セルフマネジメント	後進の育成を担う立場として、自身の専門性及び教育公務員として果たすべき役割等について認識をもって行動している。		
		24 リスクマネジメント・クライシスマネジメント	校内における事故防止と安全対策について、日頃から危機意識を持って工夫改善に努めている。場面や状況に応じた対応について率先して研修を行う。		
		25 ヘルスマネジメント	自己の心身の状態把握のみならず、教職員の健康把握にも努め、上司と相談しながら、職場の健康保持のための方法や実践に努めている。		
		26 カリキュラムマネジメント	教育目標達成のための全体指導計画及び単元指導計画・評価計画の立案と実施に向けて、リーダー性を発揮し、工夫改善されたカリキュラムづくりに努めている。		
		27 組織マネジメント	地域・保護者等の願いや児童生徒の実態等の情報収集を行い、組織を構成するメンバーや上司と協議しながら、学校の課題解決及びよりよい教育活動の展開に努めている。		
28 ネットワーク・地域		よりよい教育活動展開のための人や施設等の情報を把握し、これまでの経験や実践（社会教育・生涯学習関係含め）を生かしたネットワークづくりに努め、自校の学校教育活動に反映させている。			
29 人材育成（人づくり）		実践と研究に基づき工夫改善された授業や研究の成果を広く公開するとともに若手が研修できる場の設定や切磋琢磨できる職場の雰囲気づくりを積極的に行い、学校全体を視野に入れた人材の育成に努めている。			

## 4 OJTに取り組んで

### 成 果

- 授業研究会を設定したことで、実践的指導力が高まり、授業づくりに役立った。その結果、**教育目標の具現化に迫る**ことができた。
- 講師の立場になることにより、**教師としての自覚と校務分掌上の立場としての指導力を高めている**。
- OJTを重ねるごとに教職員間が打ち解け、**自由に考えや意見を述べ合う雰囲気**ができた。
- 普段、関わりの薄い教職員とチームを組むことで、意欲的に研修に臨む教職員が増えている。

#### 《先生方の声》

若い先生方の考えを知り、  
職場内でのコミュニケーションにひと工夫できた。

(16～25年経験教員)

#### 《先生方の声》

経験したことのない生徒指導のケースで、OJTを参考に  
して自信を持って取り組めた。

(1～5年経験教員)

### 今後に向けて

- OJTへの意識が高まってきているので、負担感なく継続的にOJTを実践していくために、短時間で実践できる工夫や研究チーム分けの工夫を行っていきたい。
- ファシリテーターを中心として、ニーズの把握を図りたい。



研究チームで OFF JT